

# 立命館経済學

第八卷 第二号

昭和三十四年六月

---

## 内 容

### 論 説

- 労働価値論の生成にかんする一考察……………松田弘三 1  
——その自然価格論との関連を中心として——
- 『資本論』体系の図式的説明（下の一）……………梯明秀 89

### 研 究

- 経営学における制度論的思考……………植村省三 132

### 紹 介

- W・エンゲルス「ライン州における  
償却と共有地分割」……………川本和良 172

立 命 館 大 学 経 済 学 会

---

立命館経済学 第七卷・第六号

論説

『資本論』体系の図式的解明(上) 梯 明 秀

J・B・ウィリアムスの「投資価値理論」における株価分析の構造 佐ノ江佐一郎

管理における統制機能 祭原光太郎

貸借対照表監査と損益計算書監査 高尾忠男

動学的レオンティエフ・システムとフライード・バック効果 岡崎不二男

研究

国有企業経営管理機構論序説(その二) 辻 和 夫

——英国公共企業体の研究——

資料

近世郷土の存在形態(下) 岡本幸雄

——丹波馬路村「両苗郷土」の  
経済的基盤と村方支配——

発行所 立命館大学人文科学研究所

立命館経済学 第八卷・第一号

井上次郎教授還暦祝賀論集

論説

封建地代の形態転化とその合法則性 阿部矢二

『資本論』体系の図式的解明(中) 梯 明 秀

中国人民大学『資本主義』 武藤守一

国家の貨幣流通と信用』 住ノ江佐一郎

株価分析の重要性について 松田弘三

——『ラナーク州への報告』を中心とするオーウェンの経済思想——

近世丹後縮緬機業における株仲間の一考察 足立政男

直線傾向線と季節指数の図的計算 関 弥三郎

エス・デ・スカスキンの『中欧および東欧におけるいわゆる「再版農奴制」の基本的諸問題』 大藪輝雄

欧州共同市場における若干の問題点 清水貞俊

発行所 立命館大学人文科学研究所